

「自国の保健医療の 向上に役立てたい」

海外研修団が知事表敬

香川の遠隔医療技術などを学ぶために来県した海外の研修団が研修最終日の10日、県庁に池田豊人知事を表敬訪問した。写真。一行は活動を振り返り、「香川で得た知見を自国の保健医療の向上に役立てたい」などと意欲を語った。

研修は国際協力機構（JICA）の事業の一環。香



川大が協力し、ガーナやモルディブなど8カ国から医療・保健分野の行政官や研究者ら計10人が参加した。

研修団は4～10日の日程で、県内の医療機関や大学、民間企業、行政などを視察。妊婦の健康状態を遠隔診療できる小型の分娩監視装置「iCTG」の技術や島しょ部の医療連携体制、人材育成のシステムなどを幅広く学んだ。

表敬では参加者が「香川

の医療は持続可能性も考慮されていて素晴らしい」知見を持ち帰り、将来的に香川大、JICAと協力しながら実現できればいい」と語った。池田知事は「香川県と皆さんの国との間で、遠隔医療の世界的なネットワークができることを願っている」と話した。

四国新聞 2025.12.14